

進路だより

『夢をかなえるために……』

札幌市立東白石中学校
第3学年 進路係
第61号
2024年10月15日発行

公立高校全日制推薦入試について 制度を紹介しておきます

令和5年度入試（昨年3月に行われた入試）から、公立高校入試の内容が一部変わりました（一般入試における出願変更の制限が緩くなったなど、いくつかあります）。ただ、おそらく今のみなさんにとって一番の関心事が、全日制高校の推薦入試（正式には、推薦入学者選抜といいます）がどのような制度なのかということでしょう。制度の詳細はいずれ担任の先生から説明されると思いますので、この号ではさしあたりみなさんに知っておいてほしいことを紹介します（定時制高校でも推薦入試が行われますが、以下に紹介する全日制の推薦入試とは異なる部分があります）。

最も大きな変化は、「中学校長の推薦」を出願資格から削除し、自己推薦書を提出することによって出願できるようになったということです（自己推薦であっても、推薦入試であることに変わりはないのですが、これからは自己推薦と呼ぶことにします）。自己推薦で出願するのか、一般入試で出願するのかの最終決定は、12月の個人懇談で行うこととなりますが、それまでにある程度は意思を固めておかなければなりません（前回の進路希望調査で、すでに自己推薦を希望している人もいました）。そこで、次の内容を参考に、よく考えてみましょう。

* 教育委員会から提示された自己推薦の出願資格

- ① 令和7年3月末日までに、道内の中学校を卒業する見込みの者。
- ② 出願先高等学校のスクール・ポリシーを理解し、自らを各学校が示す「入学者の受入れに関する方針」に合うと考えている者で、出願する動機及び理由が明確である者。
- ③ 当該学科に対する適性、興味・関心及び学習意欲を有する者。

※ スクール・ポリシーと「入学者の受入れに関する方針」は、各高校のHPに掲載されています。また、「入学者の受入れに関する方針」は、北海道教育委員会（道立高校）と札幌市教育委員会（市立高校）のHPにも一覧表が掲載されています（1学期のうちに、各教室にも掲示用の一覧表を配付しました）。

* 出願者が提出する自己推薦書の内容…以下の3点について記入します。

- ① 入学を志望する理由や抱負について
（その学校に入学したい理由や入学してから自分がしたいと思うことなどについて、その学校のスクール・ポリシーを踏まえて記入。）
- ② 中学校の各教科や総合的な学習の時間における学習について
（中学校で学習したことについて、自分が特にアピールしたいことを具体的に記入。）
- ③ 中学校在学中における学校内外の諸活動について
（中学校生活の中で、学級活動、生徒会活動、学校行事、部活動、ボランティア活動、取得した資格や検定結果、その他の活動を通して学んだこと、自分が特にアピールしたいことなどを具体的に記入。）

さらに、次の点に留意して、保護者の方や担任の先生とも相談してください。

- その高校のスクール・ポリシーや「入学者の受入れに関する方針」を理解していますか。また、その中のどのような点が、自分に合っていると思いますか。
- その高校や学科に対する適性や興味・関心を、面接などで具体的に相手に伝えられますか。
- 出願に必要な「自己推薦書」を、自分で書き上げられますか。
- 自己推薦で入学した生徒は、生徒会や学級のリーダーとしての立場を期待されます。その心構えはありますか。
- 高校は、入るだけの学校ではありません。単位をきちんと取って、卒業するための学校です。授業についていくために、一般受験しても十分に合格するだけの力がありますか。
- 筆記試験を回避したいという、安易な気持ちになっていませんか。
- 仮に合格内定しなかったとしてもすばやく立ち直れる、強い意思をもっていきますか（合格内定の通知から一般入試までは、2週間ほどしかありません）。
- 自己推薦書を期日までに書き上げると同時に、面接の練習が必要です。また、受ける高校によっては適性検査の勉強、入試当日の作文の練習、自己推薦で合格内定しなかった場合に備えての筆記試験の勉強なども行う必要があります。従って、一般受験する人よりも、より頑張る必要があります。並行して、いろいろなことに取り組むことができますか。

【参考】石狩学区の公立高校全日制で、自己推薦入試を実施しない高校

- 札幌東 • 札幌西 • 札幌南 • 札幌北 • 札幌月寒 • 札幌南陵
- 札幌東豊 • 札幌あすかぜ • 札幌稲雲 • 札幌平岡 • 江別（普通）
- 北広島西 • 石狩南